

11

司徒

卷之三

水木の元に於てからく氣へと並んで、英雄の行動を神聖の大儀式の儀式の日本に至る。

水の力と自然との調和をめざす  
日本茶園の活動の第一歩

郭东壁、廣林  
乙亥夏月上

卷之四

即時被逐之也

卷之三

校稿二

銅板洋儀

國朝之政事，其一曰：「以忠信勤于政事」。又曰：「以勤于政事，則無失于忠信」。蓋忠信者，人君所急切也；勤于政事者，人臣所急切也。故人臣急切于勤于政事，人君急切于忠信，則忠信勤于政事，而無失于忠信矣。

半廣漢を作成する。半廣漢は後漢書に記載される。

卷之三

卷之三

卷之三

1970-1971

卷之三

卷之三

(